

事務所スタッフ独り言

福原：JWST その2 にしようと思ったのだけれど

RWC で9月28日（日本時間29日未明）、強敵サモアをジャパンが美事打ち破り8強に近づいた。

今日はこの話をしよう。

サモアはポリネシア地域にあり、フィジー諸島の東約500kmにあり、主に3つの島からなる国。

面積は2830平方Kmで東京都のおよそ1.3倍、人口わずか22万人弱、それなのになぜかデカイ奴が沢山いて、NZやオーストラリア、フランス・イギリスなどで活躍している選手も多い。

日本ではサントリーで活躍していたスタンドオフ：トシ・ピシなどが2019年のRWC日本大会に出ていた。（今回も代表選手だが試合メンバーからは外れていた）

そのほかにはオーストラリア代表から移籍したFW1列ファウムイナや、NZ代表だったスタンドオフのリアリーファノがいて強化され、現在ラグビーの世界ランク12位の強国になっている。（ジャパンは13位）7月のテストマッチではジャパンが22-24で惜敗した。

フィジカルが強くジャパンのFWがサモアのバックスに吹っ飛ばされたり、タックルにいても押しかえされたり、体格も大きく体重差も明らか。おまけにオフロードパスがフィジカルの強さ故に繋がるためあわやという場面の展開が続く。

それでもジャパンは緻密なパスワークから3トライを奪い優位に、後半は体力さが出てじわじわと攻め立てられワントライ・ゴールで逆転を許すかの展開にまで追い込まれ、固唾を飲んで見る状況に。終盤80分にペナルティーを奪われ絶体絶命か？救われたのは肝心のところでのパスミスが出てジャパンが外に蹴り出し勝負あった。体格差、フィジカルに劣るジャパンではあったが良くぞ耐え抜いた、心から良くぞ頑張ったね、褒めあげたい。

個人的に嬉しかったのは終盤とはいえトヨタの福田健太が初キャップ、トヨタで素晴らしい動きをしていただけにジャパンに加わっただけでなく出場を果たした。今後の活躍を期待したい。

10月8日を過ぎたので結果の報告

ジャパンはアルゼンチンに惜敗した。27対39だった

点差はあるがかつての後半に弱いジャパンではなかった

誠に素晴らしい互角の戦いで体力もフィジカルも上回る相手に果敢に迫るジャパンの勇姿は多くのファンの脳裏に焼き付いたことだろう。

ランク13位と言っても10位以内の世界の競合たちは何を食ってあんなのだらうと思うくらい体格がデカイ。かつてフライ級だったジャパンは今ウェルター級くらいにはなっているが世界はヘビー級だ。ジャパンはヘビー級には成れない。体力はミドル級くらいにはなってヘビー級を倒せる技を見つけられるか、次のRWCが楽しみだ。



アルゼンチン戦で RWC 最高と評されたファカタバのトライ前走破



アルゼンチン戦後のジャパン挨拶に会場湧く